

択してISOイメージをシステムにダウンロードします。

4. 後で簡単にアクセスできるように、このファイルをデスクトップまたは別のフォルダに保存し、ダウンロードが完了したらダウンロードウィンドウを閉じます。

ISOを含む起動可能なメディアを作成する

オプション1：起動可能なCDを作成する

注：光学ドライブ書き込みソフトウェアは、ほとんどのオペレーティングシステムに組み込まれています。

1. お好みのCD書き込みソフトウェアを使用して、ファームウェアISOイメージをCDメディアに書き込みます。

オプション2：起動可能なUSBドライブを作成する

注：このオプションを使用するには、システムがUSBからの起動をサポートしている必要があります。

1. 新規フォーマットのUSBドライブ（256MB以上）を用意します。
2. USBインストーラープログラムを開きます。USBインストーラープログラムがない場合は、Universal USB Installer (www.pendrivelinux.com/universal-usb-installer-easy-as-1-2-3/で入手可能)などの無料のUSBインストーラープログラムをダウンロードできます。
3. セキュリティに関するダイアログまたはライセンス契約でクリック操作が必要になる場合があります。
4. Universal USB Installerを使用している場合は、以下を実行します。
 - [Step 1]のドロップダウンボックスで、一番下までスクロールして最後のオプション[Try Unlisted Linux ISO]を選択します。
 - [Step 2]で、前の手順でダウンロードしたファームウェアISOを参照します。
 - [Step 3]で、ISOをインストールするフラッシュドライブを選択します。
 - [Create]ボタンをクリックして、[Format E:\Drive (Erases Content)]をクリックします。USBドライブの上書きに関する警告で[Yes]を選択します。
 - 一連の画面表示が終了すると、USBドライブへのロードは完了です。

ファームウェアアップデートを実行する

1. ISOイメージが含まれる起動可能なCDまたはUSBをシステムに挿入します。
2. 起動可能なメディアからシステムを起動します。これでファームウェアアップデートが自動的に開始されます。
3. アップデートツールが完全にロードされると、次の画面が表示されます。

```
ISOLINUX 4.05 0x4f92e181 ETCD Copyright (C) 1994-2011 H. Peter Anvin et al
-
```

4. アップデートプロセスは自動で続行します。プロセスの状況を示すように画面が更新されます。

```
Micron Storage Executive
Loading ... 2
```

```
Micron Storage Executive
Loading ... Done.
Upgrading drive /dev/sda [Serial No. 0000000133002057C6D] from firmware MU01 to MU02
....._
```

5. ほとんどのシステムで、このプロセスには30秒から60秒かかります。一部のシステムではプロセスが完了するまでに、さらに時間がかかることがあります。
6. 完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Micron Storage Executive
Loading ... Done.
Upgrading drive /dev/sda [Serial No. 0000000133002057C6D] from firmware MU01 to MU02
....._
Device Name : /dev/sda
Firmware Update on /dev/sda Succeeded!
CMD_STATUS : Success
STATUS_CODE : 0
Your system will now return to normal operation following a reboot
-
```

7. 起動可能なメディアを取り外し、電源ボタンを押したままにしてシステムをシャットダウンします。
8. 電源をオンにします。このプロセスの初めに変更したBIOS設定を元の設定に戻してもかまいません。
9. プロセスは完了です。

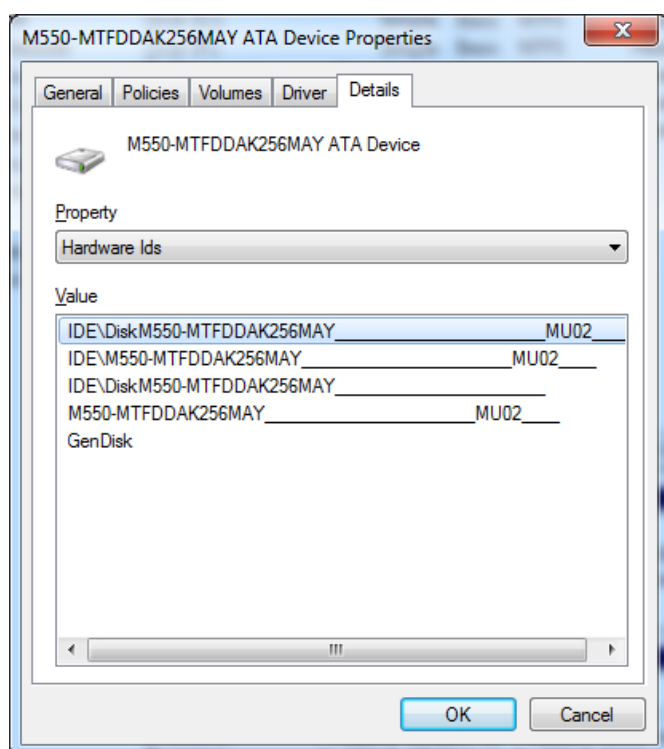
トラブルシューティングのヒント

- このソフトウェアと各種のシステムおよびチップセットの構成との互換性テストに取り組んでいますが、使用可能なすべてのシステムのテストを行うことはできません。したがって、一部のシステム（古いシステムなど）では互換性の問題が生じる可能性があります。
- 上記の「ファームウェアアップデートを実行する」セクションの手順3でM550ドライブが認識されない場合、一部の古いシステムではAHCIモードではなくIDEモードでこのアップデートの実行が必要になることがあります。その場合は、次の手順を実行します。
- デスクトップシステムでは、SATAバスにある最初の4つのポートのいずれかにドライブが接続されていることを確認します。通常、これらのポートには0-3のラベルが付けられています。一部のマザーボードでは、SATAデバイスのホットプラグインがサポートされていません。ポートを変更する前にシステムの電源を切ることを推奨します。
- BIOSの設定で、SATAモードを[IDE]または[Legacy]モードまたは[Compatibility]モードに変更します。[SATA Configuration]または[Integrated Peripherals]というパラメーターを見つけます。
- 設定を保存してBIOSを終了します。
- 上記の「ファームウェアアップデートを実行する」セクションの手順1から手順を進めます。
- ほとんどのシステムでは、RAIDモードの場合にファームウェアアップデートを行うことができません。その場合、AHCIまたはIDEモードに変更することでアップデートプロセスを実行できることがあります。アップデート後にシステムをRAIDモードに戻すと、すべてのRAID構成は保持されていますが、手順を進める前にシステムのユーザーマニュアルを確認してください。
- 補助RAIDカードは、ファームウェアアップデートの実行に必要なコマンドを渡しません。このコマンドをサボ

現在のファームウェアリビジョンを確認する

Windows 7のユーザーは、次の手順を実行することで、ドライブの現在のファームウェアリビジョンを確認できます。

1. Windowsの[スタート]ボタンをクリックして、[コンピューター]を選択します。
2. 目的のドライブを表すディスクアイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
3. 表示されるウィンドウで[ハードウェア]タブを選択します。
4. [全ディスクドライブ]の一覧で、目的のM550ドライブをハイライト表示させ、[プロパティ]ボタンをクリックします。
5. 次に表示されるウィンドウで[詳細]ページを選択します。
6. [プロパティ]プルダウンメニューで[ハードウェアID]を選択します。次のような画面表示になります。



ファームウェアのリリースノート

M550 (すべてのフォームファクタ) のファームウェアがバージョンMU01からMU02にアップデートされました。M550は、Micronが提供するツールを使用して、以前のバージョンからこの新しいファームウェアにアップデートできます。

Micronの工場で新たに製造される製品にはこのアップデートが必須で組み込まれますが、現在使用されているドライブについては、このアップデートの適用は任意です。エンドユーザーが以下の項目に関する問題に直面しているか、問題の防止を希望する場合は、アップデートが推奨されません。

バージョンMU02での変更内容は、次のとおりです。

- パワーステート移行時における安定性、効率、パフォーマンスを改善
- 不安定な電源環境における処理を改善
- SATA インターフェースの信号の整合性問題のある環境における処理を改善
- SMART 読み取りコマンドの応答時間を改善
- NCQ Trim コマンドのエラー処理を修正
- SMART 属性 5 のレポートを修正

改訂履歴

Rev. A..... 2015年1月6日

- 初回リリース